



令和4年5月17日（火）
国土交通省関東地方整備局
千葉国道事務所

記者発表資料

ちばしわかば

「R3国道16号千葉市若葉地区外舗装修繕工事」において、「公募型指名競争方式（総合評価落札方式）」、「余裕期間制度」、「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取りやめや不調が予測される工事について、不調不落対策を行っています。今回発注する「R3国道16号千葉市若葉地区外舗装修繕工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「余裕期間制度」、「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

○「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

○「余裕期間制度（任意着手方式）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限の間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

○「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

○「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

千葉国道事務所のホームページ、ツイッターでも道路情報が確認出来ます。

■千葉国道事務所ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>

■公式ツイッター情報

https://twitter.com/mlit_chibakoku



ホームページ Twitter

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

電話 043-287-0311（代表）

副所長 茅根 壮一 管理第二課長 齊藤 浩由

《工事概要》

(1) 工事名：R3国道16号千葉市若葉地区外舗装修繕工事

(2) 工事場所：千葉県千葉市若葉区貝塚町地先 外3箇所

(3) 工期：工事の始期から219日間

(工事着手期限：令和4年7月25日)

(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）

(5) 工事種別：舗装修繕工事

(6) 工事内容：【貝塚地区】

※国道16号千葉市若葉区貝塚町

- ・舗装打換え工 2,200m²
- ・切削オーバーレイ工 7,450m²
- ・薄層カラー舗装工 274m²
- ・区画線工 1式

【馬渡地区】

※国道51号佐倉市馬渡

- ・舗装打換え工 1,440m²
- ・切削オーバーレイ工 1,200m²
- ・区画線工 1式

【星久喜地区】

※国道16号千葉市中央区星久喜町

- ・切削オーバーレイ工 2,530m²
- ・区画線工 1式

【長熊地区】

※国道51号佐倉市長熊

- ・舗装打換え工 2,200m²
- ・切削オーバーレイ工 544m²
- ・区画線工 1式

《「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《「余裕期間制度（任意着手方式）」》

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限の間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《「難工事指定」》

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評価を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。また、加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡し完了した施工実績が加点対象となります。

また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間を評価対象となります。

《「施工箇所が点在する工事の積算」》

施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|--------------|
| ○入札公示、入札説明書交付 | 令和4年5月17日（火） |
| ○競争参加資格確認申請書提出期限 | 令和4年5月26日（木） |
| ○入札書・工事費内訳書提出期限 | 令和4年7月 1日（金） |
| ○開札日 | 令和4年7月 6日（水） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

- 【メリット】
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
 - ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
 - ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
 - ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

